

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



今年は2度の大雪に見舞われたため、春の暖かさが本当に待ち遠しいこの頃ですが、皆さん、お変わりありませんでしょうか？

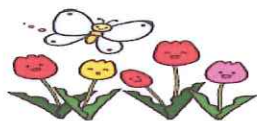
さて、3月は卒業式や送別会など別れの時期ですね。仲良しの友人や同僚達との別れは寂しいものですが、反面、新しい人達とのめぐりあいに心が躍ります。素敵な出会いがありますように！

3年前の3月11日、日本のみならず、世界中を震撼させた東日本大震災。

あの時を思い出すと、今でも恐怖感がよみがえり、同時に、犠牲になられた多くの方達やご家族、未だに完結しない復興に心が痛みます。

皆さんのことは、決して忘れていません。

1日も早く笑顔が広がることを誰もが願っています。東北地方では、まだしばらくの間、寒い日が続くことですが、お身体には十分気をつけて、お元気で過ごしてくださいね。



では今月も、大切な家づくりをご一緒している方を紹介させていただきます。

今回は**高村産業**さんです。

とび・土工事会社ですが、主に建造物解体工事に携わっています。

家を建てる際、古家を解体し整地まで行いますが、作業時は、近隣にも迷惑が掛かるため、掃除や挨拶

はもちろん、敷地内の整理・整頓まで徹底して実践されているとおっしゃる高村社長自らご登場いただきました。



高村社長は栃木県のご出身。

趣味は、野球、ゴルフ、写真撮影、海釣り、登山と幅広く、中でも野球はご自身のチームまで持っていたそうです。

休日は、ゴルフを楽しんだり、ボランティアで保護司としてもご活躍。そのパワーの源はいったい何処に？



もしかしたら、一緒に住んでいる可愛いお孫さんでしょうか。

奥様とご長男夫婦、そしてお孫さんの5人家族。仕事場ではとても厳しいけれど、家に帰ればきっとやさしいおじいちゃま(?)に変身。

これが毎日のエネルギー源かもしれませんね。

これからもお元気でご活躍ください！

引き続き、よろしく願いいたします。

## 「暑さ寒さも彼岸まで」

春分と秋分は、いずれも二十四節気のひとつで、暦の上では春と秋の折り返し地点です。

そして、春分と秋分の日には、昼夜の長さがほぼ同じになると考えられています。

春分以降は、昼が長くなって寒さも和らいで暖かくなり、秋分以降は、暑さが和らぎ涼しくなってだんだんと秋の夜長に向かいます。

ただし、昼夜の長さが同じだからと言って春分と秋分の気候が同じになるわけではありません。

夏の暑さの名残りで、秋分の方が平均して10度以上も気温が高いのですが、厳しい

残暑や寒さにも目途がつくため、

「暑さ寒さも彼岸まで」と言うようになりました。



## 卒業式の思い出



今回は、ある女子高校生の話を紹介します。

私の小学校6年生の卒業式のことです。  
式が終わり退場の際、私は、お母さんからいきなり花束を手渡されました。  
今思えば、騒ぐほど大きいものじゃなかったけれど、当時、クラス内でもおとなしかった私は、皆の前で変に目立つことが嫌いで、手渡された花束を「いらない」と言ってお母さんに押し返してしまいました。  
人前で花束を渡されたことが許せず、何よりも恥ずかしかったのです。

そのあと移動した教室で、お母さんは又私のところへ駆け寄り、さっきの花束を渡しにきたのです。  
どんなに拒否しても押し付けてくるので、お母さんを睨みながらしぶしぶ奪い取りました。  
こんなところをクラスの皆に見られるのが、本当に嫌だったんです。

帰宅してからも、私は終始不機嫌で、ひどいことをお父さんに言い続けました。

「なんでお母さんはあんなことしたの？」  
「私のことなんて何にも考えていない。  
こんなのいらない」

すると、お父さんは言ったのです。  
「〇〇ちゃんの気持を判かってあげられなくてごめんね。ただお母さんは、〇〇ちゃんにバレないように内緒で花束を買って、誰よりも娘の卒業式を楽しみにしていたんだよ」って。

私は、お父さんに言われたことが頭から離れなかった。



思い返せば、お母さんは私に花束を渡す時、笑顔で「おめでとう！」と言ってくれた。

渡されたまま全然見もしなかった花束には、弟が書いてくれた「おねえちゃん、そつぎょうおめでとう」という小さなメモが付いていた。



私が花束を押し返した時も、拗ねて口をきかなかった時も、お母さんはただ悲しそうな顔で笑っていました。

私はこんなに家族に想われている。なのに私は何てひどいことをしたんだろう？と涙が止まらなかった。

私は夜中にも拘らず、寝ているお母さんをたたき起し、涙でぐちょぐちょの顔で謝り続けました。お母さんは私を責めもせず、ただ「ごめんね、〇〇ちゃんがそんなに嫌な思いをしているなんてちっとも思わなかった。ごめんね」と繰り返していた。

今でも、思い出す度に罪悪感でいっぱいになり、家族の大切さと暖かさを感じます。  
私は、まだ高校生なので今は何もできないけれど、成人したらたくさん親孝行したいと思います。

### 「編集後記」

3月は卒業式のシーズンですね。  
この時期になると、恩師やクラスメートのことを懐かしく思い出す方もいらっしゃることでしょう。  
一緒に学び、一緒に遊んだこと・・・  
数々の思い出を胸に、又新しい一歩が始まります。

季節の変わり目は体調を崩しがちです。  
健康に気をつけて、充実した日々をお過ごしくださいね！！

今月もお読みいただき有難うございます。  
ご意見・ご感想をお聞かせください。



編集責任者  
渡辺 田鶴子